

日本英語文化学会編『英語文化研究—日本英語文化学会創立 45 周年記念論文集』（令和 3 年 3 月、春風社）ISBN:978-4-86110-745-0 C0082

市川仁、佐々木隆、菅野智城、落合真裕、須永隆広、君島利治、小澤奈美恵、浅川友幸、本間章郎、大木富、日中鎮朗、原隆幸、小山田幸水、中井延美

日本英語文化学会創立 45 周年記念論文集として出版。佐々木は編集委員を務め、全体の編集を行う傍ら、下記の論文も投稿した。

佐々木隆「口演としてのシェイクスピア—日本のシェイクスピアの現状を考える」（査読付、巻頭論文）

「はじめに」「1 シェイクスピアの劇中の“hear”」「2 『口演としてのシェイクスピア』とは」「3 朗読」「4 落語」「5 講談」「6 狂言」「7 上演の多様化と限界」「おわりに」で構成した。口演者の多様化、会場の多様化を含め、「ライブのパフォーマンスを楽しむ形態自体が大きく変わってきたことが大きな原因」として捉え、演劇から小規模で公演できる落語、朗読、講談などによるシェイクスピア口演がおこなわれるようになったとことを論じた。（A5 11 頁-19 頁）